

日本鐵鋼協會記事

昭和 28 年第 3 回理事會 日時：昭和 28—5—13 (水) 16 時 30 分～18 時 30 分。會場：協會々議室。出席者○：(會長)×伊藤隆吉(副會長)×小林佐三郎(理事)○石原善雄，○内川 悟，×菊池浩介，○佐藤忠雄，○田畑新太郎，×湯川正夫，○横山均次。(前會長)○依 國一，×松下長久，○三島徳七，○山岡 武，○田中清治。(監事)×石田四郎，○石田 稔(常務委員)×阿部信男，○芥川 武，○伊木常世，×岡本正三，○依信 次，○西村吉太郎，×毛利猷三郎，×柳 武(研究部會委員長)×淺田 讓，×大原久之，×殿村秀雄，×松永陽之助(主事)臨時代理×吉崎鴻造。

報告事項 [I] 昭和 28 年度第 2 回編集委員會 日時：昭和 28 年 4 月 21 日 16 時 30 分～20 時 00 分。會場：協會々議室。出席者：(理事) 菊池浩介君，横山均次君。(編集委員) 澤繁樹君，長谷川正義君，濱本甲子生君，松下幸雄君，安田洋一君，山木正義君，吉田道一君。(主事代) 三宅運秀。

(報告事項) 1. 昭和 28 年 2 月號は(講演大要の爲 3 月號を先に發行)印刷の都合により遅延し 4 月末竣成の豫定。2. 同 4 月號は 5 月 15 日迄に竣成の豫定。3. 英文鐵と鋼，諸外國への配布先は英，米，獨，佛，瑞典，波蘭印度，スペイン，ノルウエー，カナダ，白耳義の主要機關へ照會狀發送済み。

(協議事項) 1. 昭和 28 年 6 月號原稿選定の件。2. 在ベルリン金屬學協議會より鐵と鋼寄贈方申込の件(國際的報告機關雜誌に採擷掲載の爲)雜誌の發行期日，發行後資料提供者には寄贈か，有料か等を一應照會のこと。3. 廣島縣立労働科學研究所より鐵と鋼寄贈方申込の件。斷り。4. 日本化學會より要請の件(鐵鋼協會に於て行われた化學工業上注目すべき發明改良等の通知方)…期日切迫の爲，取り調べ間に合わず，その旨回答。5. 春季講演大會講演前刷の内左記番號のものを會誌論説として至急寄稿方依頼狀發送の件。

5, 6, 8, 13, 18, 19, 21, 24, 32, 35, 51, 66, 67, 70, 71, 80, 81, 83, 85, 87, 88, 90, 94, 102, 103

[II] 定款改正(正會員及學生會員各會費値上)申請書提出済(28—4—23)の件

[III] 登記變更(資産の總額)申請書提出済(28—4—25)の件

[IV] 工業技術院委託の「航空機用鋼線索工業標準原案」作成委託金 19,940 圓受領済(28—4—20)の件

[V] 昭和 28 年度東海支部役員報告の件 前例によつて處置すること。

[VI] 日本工學會理事會及總會報告の件(28—4—23)

協議事項 [I] 秋季講演大會に關する件 開催地：京都。會場：京都大學工學部。期日：(講演) 10 月 17—18 日。(見學) 19—20 日。見學先未定。旅館未交渉。實行委員長及實行委員の依頼 支部長に依頼のこと。大會寄附金豫算約 20 萬 圓。寄附依頼先 實行委員長より一應交渉を願うこと。講演大要録一會誌 10 月號とすること。

[II] 印度金屬學會出席者に講演又は報告記事依頼の件 講演會によること，決定。[III] 昭和 23 年金融整備法に依る損金調整利益分配收入處置の件(詳細別紙)承認。[IV] 關西支部昭和 27 年度事業及び會計決算報告，同 28 年度事業計畫及び會計豫算(別紙)承認の件，承認。[V] 造船協會賞，日本造船工業會賞，日本海事協會賞等受賞候補者推薦依頼の件，編集委員會に於て推薦すること。[VI] 昭和 28 年度 4 月分收支決算審議の件。[VII] 入退會者其他會員異動の件。熱經濟研究部會成果「熱計測」發行の件，5,000 部を丸善より出版契約調印，承認。

	名 譽	維	持	贊 助	正	學	計
昭和 28 年 3 月末數	10	118	533 (口)	42	4,566	182	4,948
入 會 者	+	1	+1 (口)		+ 13	+ 3	+ 17
退 會 者				- 1	- 4		- 5
死 亡					- 1		- 1
轉 格					+ 7		
復 活					+ 1		+ 1
同 28 年 4 月末數	10	119	539 (口)	41	4,612	178	4,960